最下位からの逆転劇

経済学部・経済学科 M・M
(兵庫県立 芦屋高等学校出身)

高校時代の私は、学校をサボりがちで友達と遊び呆けていたため、成績が芳しくなく、第1志望の大学にも落ちてしまいました。その結果、滑り止めとして合格した大阪産業大学へ入学することになりました。偏差値が高いとはいえない本学において、良い進路を勝ち取ることなど、勉強嫌いな私にとっては不可能であると思っていました。しかしながら、上級キャリアコースに関する説明を聞いた際、「大学入学時は誰しもスタート地点が同じである」、「大学生活で今後の人生が決まる」、「変わるなら今しかない」というフレーズが頭に残りました。全員が同じスタートラインに立っているのであれば、勉強が嫌いな私でも、今から頑張ればついていけるのではないかと、頑張れば良い進路を勝ち取れるのではないかと、そして何より、勉強から逃げてきた自分を変えたいという思いから、コースに所属することを決意しました。

しかし、最初から優秀な成績を取っていたわけではありません。1回生時の成績は、最下位になってしまうなど、下から数える方が早かったです。このままでは昔と何も変わらないという焦りもあり、現状を打開するため、上級キャリアコースの先輩や同期に相談しました。同コースには、「タテ」と「ヨコ」の繋がりを大切にする伝統があります。優秀な先輩や同期から勉強のコツを教えてもらい、コツコツ努力を重ねるうちに、少しずつ成果を出せるようになりました。また勉強だけでなく、就職活動においても、先輩や同期との繋がりが非常に役立ちました。上級キャリアコースに所属したおかげで、勉強や進路に真剣に向き合うことができ、自分を変えることができたと思っています。

入学当初の私と同じように、勉強し続けることが苦手で、良い進路を勝ち取ることをはなから諦めている方でも、自分を変えたいのであればチャンスはまだ残されています。丁寧に指導してくださる先生方、困った時にアドバイスをしてくださる先輩方がたくさんいますので、進路や勉強について真剣に向き合いたい方、そして、今の自分を少しでも変えたい方は是非、上級キャリアコースに挑戦してみてください。

もちろん、上級キャリアコースの講義は難易度が高いです。また、さまざまな面で本当に厳しい指導が待ち受けています。遅刻・欠席は論外、いわれたことしかしないなどの主体性のない行動も論外、仲間と協力できないのも論外。「知らなかった・聞いていなかった」という発言は言い訳としかみなされませんし、それでは到底コースで生き残っていくことは無理でしょう。なぜ、ここまで厳しいと思いますか。それは、高校までのあらゆる面での遅れを取り戻し、人生の逆転劇を演じるためなのです。そうまでしてでも、輝かしい将来を手に入れたい方ならば、このコースに向いていると思います。

しっかりと考えて決断してください。後戻りはできませんので。